選択

2025.12月号●目次

連載

10 世界のキーパーソン
11 国内人事情報
27 Book Reviewing Globe
40 テイレシアスの食卓―河井健司
42 大往生考
51 西風
58 新・危機管理のノウハウ
59 交差点―読者の声・編集者の声

社会・文化

金銭醜聞の温床にして、裏金造幣局のようなもの。その実情は長時間勤務とパワハラに耐え忍ぶ日々。政策立案に関わる秘書は一握りで、大半は選挙のための「奴隷」だ。昭和のまま存置された政治の暗黒面。(110頁)

98 社会・文化●情報カプセル
100 米価高騰「鈴木農相」が招く災い
■政治の思惑が増幅する「農政停滞」
102 東京に迫る「医療砂漠」の危機―病院閉鎖続発を止める「奥の手」
104 高齢者「変額保険」の生き地獄―「三菱UFJ」の非道を国連へ提訴
106 工業高校生は今や「ダイヤの卵」
■減少一途の中の「人材争奪戦」
108 美術品「受難」は日本でも起きる―「ルーヴル美術館」を笑えない事情
110 日本のサンクチュアリ●シリーズ615 国会議員秘書―この凄まじき「時代遅れ」稼業

経済

60 米国株「年末相場」の雲行き
■もう一段の「上昇」もあり得る
62 JERAで進む「企業統治」の崩壊
■公益事業を専横する「3人の男女」
64 猛威「アクティビスト」の次の策略―少数株主から「企業買収者」に脱皮
67 連載〈クローズ・アップ〉田中健二(ソニー次期社長)―AI時代に「復活の一手」はあるか
68 連載〈企業研究〉第一生命HD
■顧客より「株主優先」の異常経営
72 中国資本の日本企業「違法買収」が横行
■「ウルフパック」野放しの金融庁
74 経済●情報カプセル
78 連載〈地方金融の研究〉城北信用金庫―信金初「信託進出」の苦しい事情
82 トヨタ「下請けいじめ」は不治の病―公取勧告も意に介さぬ「倫理喪失」
84 ニデック「永守追放」で包囲網―アクティビストの「祭り」が始まる
86 中国「日本企業排斥」は新段階へ―高市発言で増幅する「デリートJ」

株式会社に転換してからは不祥事が続出。「素人経営者」は無策を重ね、「女帝問題」では不法体質と顧客への背信が露わになった。国内生保事業はガタガタでロクな新保険もなし。早期退職者が増えるばかりだ。(68頁)

政治

今、リフレ政策をとれば、さらなる円安と物価高は自明。しかし生活苦の国民は高市にとって「二の次」だ。安倍の生き写しでありたい。その一念で経済を歪める亡国の大衆迎合。高支持率は今だけの幻想だ。(48頁)

44 政治●情報カプセル
46 維新「名ばかり連立」の目的地―解党「自民党合流」が本望か
48 高市「経済失政」の禍根
■物価高加速で近づく「高転び」
52 連載〈政界スキャン〉高市が「本物の保守」でない理由
54 高市最大の弱点「健康問題」
■その病で激務に耐えられるのか
56 年末解散「年始選挙」はなさそう
■高市「唯一の好機」は見送り機運

WORLD

3 連載〈巻頭インタビュー〉森知也―東京の「不動産下落」は遠くない
6 ●特別リポート アジア「核軍拡」の凶兆
―高市発言が開いた地獄への扉
12 激変する米国の「統治機構」―政府「長期閉鎖」が示した将来
14 米「ヘリテージ財団」が内紛状態に―親トランプ陣営に不穏な「亀裂」
16 トランプ「米中G2宣言」の衝撃
■世界秩序「暗転」と日本の危機
18 WORLD●情報カプセル
22 フランスを襲う「激安衣料」の大波―中国「シーイン」が広げる社会分断
24 米中朝「平和協定」への蠢動
■習近平が狙う北京「3首脳会談」
28 ウクライナ和平で米露の「裏交渉」
■トランプ「ロシア偏重」の理由
30 プーチン一族の汚れた「繁栄」―巨万の富を貪る「24人」の素性
32 米国「ベネズエラ侵攻」への欲望―トランプは「麻薬の泥沼」に堕ちるか
34 中東産油国「AI産業誘致」が過熱―強権サウジがここでも劣勢に
36 中国「反日攻撃」は長く激しく
■高市在任中に起こる「最悪の事態」
38 連載〈現代史の言霊〉12月の譲歩―ブッシュvsゴア米大統領選(2000年)

日本は米軍の核の持ち込みを容認する方向。米国は韓国の原潜保有を認めた。中朝露が核の圧力を高めるのは必定で、抑止より偶発的リスクが高まった。日中摩擦のその先には、核軍拡の悪夢が待っている。(6頁)

80 金融の世紀―黒木亮
88 皇室の風―岩井克己
90 日本の科学アラカルト
92 新・大学評判記
94 本に遇う―河谷史夫
96 をんな千一夜―石井妙子
114 マスコミ業界ばなし

●写真提供／時事通信フォト　共同通信イメージズ　など